

シラバス

指定番号 73

商号又は名称：(株)小野教育総合研究所

科目番号・科目名	(1) 職務の理解			
指導目標	研修に先立ち、これからの介護が目指すべき、その人の生活を支える「在宅におけるケア」等の実践について、介護職がどのような環境、形、仕事を行うのか、具体的に理解させるようにする。			
項目番号・項目名	時間数	うち 通学学習 時間数	うち 通信学習 時間数	講義内容・演習の実施方法・通信学習課題の概要等 (別紙でも可)
② 多様なサービスと理解	2.5	2.5		〈講義内容〉 介護保険サービス(居宅、施設)と介護保険外サービスの違い
③ 介護職の仕事内容や働く現場の理解	3.5	3.5		〈講義内容〉 介護職の働く場所における仕事の理解(在宅、施設等) 一連の業務の流れを理解させるとともに、他職種との連携 補助教材DVD使用
(合計時間数)	6	6	0	

使用する機器・備品等	株式会社QOLサービス発行『介護職員初任者研修テキスト 第1分冊』 「1 職務の理解」 介護職員初任者研修 補助教材 DVD
------------	--

- ※ 通学時間数には通学形式で講義・演習を実施する時間数、通信時間数には自宅学習にあてる時間数を記入すること。
- ※ 各項目について、通学時間数を0にすることはできない。なお、通信時間数については別紙3に定める時間以内とする。
- ※ 時間配分の下限は、30分単位とする。
- ※ 項目ごとに時間数を設定すること。
- ※ 実技演習を実施する場合は、実技内容・指導体制を記載すること。

シラバス

指定番号 73

商号又は名称：(株)小野教育総合研究所

科目番号・科目名	(2) 介護における尊厳の保持・自立支援			
指導目標	「尊厳の保持」「自立支援」と云う介護の考え方を理解するとともに、「介護を必要とする人」を、生活の観点から捉えさす。 介護実践の基本的姿勢である尊厳を支える介護、自立に向けた介護について、ノーマライゼーションや ICF の考え方を援用して理解させる。			
項目番号・項目名	時間数	うち 通学学習 時間数	うち 通信学習 時間数	講義内容・演習の実施方法・通信学習課題の概要等 (別紙でも可)
① 人権と尊厳を支える介護	4	1	3	〈通信学習課題・講義内容〉 ・人権と尊厳の保持、ICF・QOL の考え方、ノーマライゼーション、高齢者虐待防止法、身体拘束禁止、高齢者の養護者支援、成年後見制度・日常生活自立支援事業 ・「自立とはなにか？自分の生活にリンクして考える」 グループディスカッション実施
② 自立に向けた介護	3	1	2	〈通信学習課題・講義内容〉 ・残存能力の活用、自立と自律の不可分、動機と欲求、意欲を高める支援、個別性/個別ケア、重度化防止 ・介護予防、生活の活性化 ・「生きがいつてなに？自分の楽しみ・趣味をリンクさせる」 グループディスカッション実施
③ 人権啓発に係る基礎知識	2	2		〈講義内容〉 ・人権について、人権への取り組み
(合計時間数)	9	4	5	

使用する機器・備品等	株式会社QOLサービス発行『介護職員初任者研修テキスト 第1分冊』 「2 介護における尊厳の保持・自立支援」
------------	---

- ※ 通学時間数には通学形式で講義・演習を実施する時間数、通信時間数には自宅学習にあてる時間数を記入すること。
- ※ 各項目について、通学時間数を 0 にすることはできない。なお、通信時間数については別紙 3 に定める時間以内とする。
- ※ 時間配分の下限は、30 分単位とする。
- ※ 項目ごとに時間数を設定すること。
- ※ 実技演習を実施する場合は、実技内容・指導体制を記載すること。

シラバス

指定番号 73

商号又は名称：(株)小野教育総合研究所

科目番号・科目名	(3) 介護の基本			
指導目標	<p>介護実践の基本となる利用者と介護従事者の安全性の確保とリスクマネジメントについて理解する。</p> <p>利用者の安全については、介護事故や感染症を例にとり安全対策とリスクマネジメントのあり方と予防的対応について理解する。</p> <p>介護従事者の安全と健康については、心身両面から理解を深め、介護者に多い健康問題や事故事例を用いて分析、予防対策を考える。</p>			
項目番号・項目名	時間数	うち 通学学習 時間数	うち 通信学習 時間数	講義内容・演習の実施方法・通信学習課題の概要等 (別紙でも可)
① 介護職の役割、専門性と多職種との連携	2	1	1	<p>〈通信学習課題・講義内容〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・訪問介護と施設介護サービスの違いの現状、地域包括ケアの方向性 ・重度化防止・遅延化の視点、利用者主体の支援姿勢、自立した生活を支える為の援助、根拠ある介護、チームケアの重要性、事業所内のチーム、多職種からなるチーム ・「利用者を取り囲む他職種とは」グループワーク実施
② 介護職の職業倫理	1	0.5	0.5	<p>〈通信学習課題・講義内容〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・介護の倫理、介護職としての社会的責任、プライバシーの保護・尊重 ・「価値観とは～自分の価値観を知り、他者との価値観の違いを知る。」グループワーク実施
③ 介護における安全の確保とリスクマネジメント	2	1	1	<p>〈通信学習課題・講義内容〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事故に結びつく要因を探り対応していく技術、リスクとハザード ・リスクマネジメント、分析の手法と視点、事故に至った経緯の報告、情報の共有 ・感染の原因と経路、「感染」に対する正しい知識 ・「施設事故事例について」ケース・スタディ実施
④ 介護職の安全	1	0.5	0.5	<p>〈通信学習課題・講義内容〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・介護職の健康管理が介護の質に影響、ストレスマネジメント、腰痛の予防に関する知識、手洗い・うがいの励行、手洗いの基本、感染症対策 ・「ストレス解消法について」グループディスカッション実施
(合計時間数)	6	3	3	

使用する機器・備品等	株式会社QOLサービス発行『介護職員初任者研修テキスト 第1分冊』 「3 介護の基本」
------------	--

- ※ 通学時間数には通学形式で講義・演習を実施する時間数、通信時間数には自宅学習にあてる時間数を記入すること。
- ※ 各項目について、通学時間数を0にすることはできない。なお、通信時間数については別紙3に定める時間以内とする。
- ※ 時間配分の下限は、30分単位とする。
- ※ 項目ごとに時間数を設定すること。
- ※ 実技演習を実施する場合は、実技内容・指導体制を記載すること。

シラバス

指定番号 73
商号又は名称：(株)小野教育総合研究所

科目番号・科目名	(4) 介護・福祉サービスの理解と医療の連携			
指導目標	介護保険制度の位置づけを理解し、その目的、サービス利用の流れ、役割・債務について把握させ、骨子を述べる事が出来るようにする。			
項目番号・項目名	時間数	うち 通学学習 時間数	うち 通信学習 時間数	講義内容・演習の実施方法・通信学習課題の概要等 (別紙でも可)
① 介護保険制度	4	0.5	3.5	〈通信学習課題・講義内容〉 ・ 予防重視型システムへの転換、地域包括ケアシステムへの転換、ケアマネジメントの導入、地域包括支援センターの設置 ・ 保険制度の基本的仕組み、介護給付と種類、予防給付、要介護認定の手順、 ・ 財政負担、指定介護サービス事業者の指定 ・ 「介護保険について」グループディスカッション実施
② 医療との連携とリハビリテーション	2.5	0.5	2	〈通信学習課題・講義内容〉 ・ リハビリテーション医療の理念、意義、目的 ・ 各専門職とリハビリテーションチーム医療における連携
③ 障がい者総合支援制度およびその他の制度	2.5	0.5	2	〈通信学習課題・講義内容〉 ・ 障がいの理念、ICF ・ 障害者自立支援法の概要及び仕組み ・ 個人情報保護法、成年後見制度、日常生活自立支援事業
(合計時間数)	9	1.5	7.5	

使用する機器・備品等	株式会社QOLサービス発行『介護職員初任者研修テキスト 第1分冊』 「4 介護・福祉サービスの理解と医療との連携」
------------	--

- ※ 通学時間数には通学形式で講義・演習を実施する時間数、通信時間数には自宅学習にあてる時間数を記入すること。
- ※ 各項目について、通学時間数を0にすることはできない。なお、通信時間数については別紙3に定める時間以内とする。
- ※ 時間配分の下限は、30分単位とする。
- ※ 項目ごとに時間数を設定すること。
- ※ 実技演習を実施する場合は、実技内容・指導体制を記載すること。

シラバス

指定番号 73

商号又は名称：(株)小野教育総合研究所

科目番号・科目名	(5) 介護におけるコミュニケーション技術			
指導目標	コミュニケーションの基本を理解し、支援を必要とする利用者や家族、また他職種とのチームアプローチにおけるコミュニケーションの形成を目指す。 介護におけるチームのコミュニケーション技術の習得、記録や報告書の作成方法の習得、会議の意義と目的と留意点について深く理解させる。			
項目番号・項目名	時間数	うち 通学学習 時間数	うち 通信学習 時間数	講義内容・演習の実施方法・通信学習課題の概要等 (別紙でも可)
① 介護におけるコミュニケーション	3	1.5	1.5	〈通信学習課題・講義内容〉 ・相手のコミュニケーション能力に対する理解や配慮、傾聴、共感の応答 ・利用者の心理の理解(思いの把握)、感情への共感、家族へのいたわりとはげまし ・言語、視覚、聴覚障害者とのコミュニケーションスキル、失語症及び構音障害者とのコミュニケーションスキル、認知症の人とのコミュニケーションスキル ・「一方向と双方向のコミュニケーション」グループワーク実施
② 介護におけるチームのコミュニケーション	3	1.5	1.5	〈通信学習課題・講義内容〉 ・チームアプローチとチーム連携、チームアプローチの形態 ・介護職と記録、報告・連絡・相談 ・会議、ケアカンファレンスの重要性 ・グループディスカッション実施 ・「閉ざされた質問と開かれた質問について」 グループディスカッション実施
(合計時間数)	6	3	3	

使用する機器・備品等	株式会社QOLサービス発行『介護職員初任者研修テキスト 第1分冊』 「5 介護におけるコミュニケーション技術」
------------	--

- ※ 通学時間数には通学形式で講義・演習を実施する時間数、通信時間数には自宅学習にあてる時間数を記入すること。
- ※ 各項目について、通学時間数を0にすることはできない。なお、通信時間数については別紙3に定める時間以内とする。
- ※ 時間配分の下限は、30分単位とする。
- ※ 項目ごとに時間数を設定すること。
- ※ 実技演習を実施する場合は、実技内容・指導体制を記載すること。

シラバス

指定番号 73

商号又は名称：(株)小野教育総合研究所

科目番号・科目名	(6) 老化の理解			
指導目標	加齢・老化に伴う心身の変化や疾病について、具体例を挙げ介護において生理的側面の知識を身につける事の必要性を説く。			
項目番号・項目名	時間数	うち 通学学習 時間数	うち 通信学習 時間数	講義内容・演習の実施方法・通信学習課題の概要等 (別紙でも可)
① 老化に伴うこととからだの変化と日常	3	1	2	〈通信学習課題・講義内容〉 ・感覚や知覚の変化、注意力の変化と反応の変化、記憶の変化、知能の変化、感情の変化、性格の変化 ・健康とライフサイクル、加齢の生理学
② 高齢者と健康	3	2	1	〈通信学習課題・講義内容〉 ・身体的及び精神的機能の変化と病気とその日常生活への影響、主な症状とチェックポイント ・生活習慣病とメタボリックシンドローム、高血圧と糖尿病、循環器の病気、呼吸器の病気、消化器の病気、代謝や内分泌の病気、脳神経系の病気、運動器の病気、アレルギー・膠原病・免疫の病気、血液の病気、腎臓・泌尿器の病気、こころの病気、眼の病気、耳・鼻・喉の病気、皮膚の病気、歯・口腔・顎の病気、感染による病気、介護保険の特定疾病
(合計時間数)	6	3	3	

使用する機器・備品等	株式会社QOLサービス発行『介護職員初任者研修テキスト 第1分冊』 「6 老化の理解」
------------	--

- ※ 通学時間数には通学形式で講義・演習を実施する時間数、通信時間数には自宅学習にあてる時間数を記入すること。
- ※ 各項目について、通学時間数を0にすることはできない。なお、通信時間数については別紙3に定める時間以内とする。
- ※ 時間配分の下限は、30分単位とする。
- ※ 項目ごとに時間数を設定すること。
- ※ 実技演習を実施する場合は、実技内容・指導体制を記載すること。

シラバス

指定番号 73

商号又は名称：(株)小野教育総合研究所

科目番号・科目名	(7) 認知症の理解			
指導目標	認知症に関する基本知識を習得するとともに、認知症のある人の体験や意思表示が困難な特性を理解し、本人のみならず家族を含めた周囲の環境にも配慮した介護の視点を習得させる。様々な生活上の生きづらさを抱えておられる方々の心身の状況を学び、本人の権利を守り、家族支援を含めたケアのあり方を学ぶ。			
項目番号・項目名	時間数	うち 通学学習 時間数	うち 通信学習 時間数	講義内容・演習の実施方法・通信学習課題の概要等 (別紙でも可)
① 認知症を取り巻く状況	1	0.5	0.5	〈通信学習課題・講義内容〉 ・認知症ケアの理念、認知症ケアの視点(できることに着目する) ・最新の認知症ケア ・「認知症になったら告知して欲しいか～インホームドコンセント～」グループディスカッション実施
② 医学的側面から見た認知症の基礎と健康管理	2	1	1	〈通信学習課題・講義内容〉 ・認知症の定義、認知症の原因疾患(種類・原因)、中核症状と行動・心理症状(薬物療法)
③ 認知症に伴うこころとからだの変化と日常生活	2	1	1	〈通信学習課題・講義内容〉 ・認知症に伴うこころとからだの変化、 認知症の人の対応(日常生活支援の基本的対応) ・「非薬物療法・回想法・音楽療法」グループワーク実施
④ 家族への支援	1	0.5	0.5	〈通信学習課題・講義内容〉 ・認知症家族介護者の現状の理解(家族介護者の介護負担)、 認知症をもつ人の声(認知症との出会い、その支援について) ・
(合計時間数)	6	3	3	

使用する機器・備品等	株式会社QOLサービス発行『介護職員初任者研修テキスト 第1分冊』 「7 認知症の理解」
------------	---

- ※ 通学時間数には通学形式で講義・演習を実施する時間数、通信時間数には自宅学習にあてる時間数を記入すること。
- ※ 各項目について、通学時間数を0にすることはできない。なお、通信時間数については別紙3に定める時間以内とする。
- ※ 時間配分の下限は、30分単位とする。
- ※ 項目ごとに時間数を設定すること。
- ※ 実技演習を実施する場合は、実技内容・指導体制を記載すること。

シラバス

指定番号 73

商号又は名称：(株)小野教育総合研究所

科目番号・科目名	(8) 障がいの理解			
指導目標	障害の概念と ICF、障害者福祉の基本的な考え方について理解し、介護における基本的な考え方について理解できるようにする。			
項目番号・項目名	時間数	うち 通学学習 時間数	うち 通信学習 時間数	講義内容・演習の実施方法・通信学習課題の概要等 (別紙でも可)
① 障がいの基礎的理解	1	0.5	0.5	〈通信学習課題・講義内容〉 ・障害の意味、障害の構造、障害の受容 ・ICFの考え方、ノーマライゼーションの概念、インクルージョンの理解
② 障がいの医学的側面、生活障がい、心理・行動の特徴、かかわり支援等の基礎的知識	1	0.5	0.5	〈通信学習課題・講義内容〉 ・身体障害、知的障害、精神障害、言語・聴覚障害、視覚障害、発達障害、高次脳機能障害、内部障害、難病それぞれにおける生活障害、心理・行動の特徴、かかわり支援の基礎知識
③ 家族の心理、かかわり支援の理解	1	0.5	0.5	〈通信学習課題・講義内容〉 ・障害のある人の家族の負担と支援、障害の受容の理解
(合計時間数)	3	1.5	1.5	

使用する機器・備品等	株式会社QOLサービス発行『介護職員初任者研修テキスト 第1分冊』 「8 障害の理解」
------------	--

- ※ 通学時間数には通学形式で講義・演習を実施する時間数、通信時間数には自宅学習にあてる時間数を記入すること。
- ※ 各項目について、通学時間数を0にすることはできない。なお、通信時間数については別紙3に定める時間以内とする。
- ※ 時間配分の下限は、30分単位とする。
- ※ 項目ごとに時間数を設定すること。
- ※ 実技演習を実施する場合は、実技内容・指導体制を記載すること。

シラバス

指定番号 73

商号又は名称：(株)小野教育総合研究所

科目番号・科目名	(9) ア ころとからだのしくみと生活支援技術 (基本知識の学習)			
指導目標	介護技術の根拠となる人体の[構造や機能に関する知識を習得し、安全な介護サービスの提供方法等を理解し、基礎的な一部又は全介助等の介護が実施できるようにする。 尊厳を保持し、その人の自立及び自律を尊重し、持てる力を発揮してもらいながらその人の在宅・地域等での生活を支える介護技術や知識を習得する。			
項目番号・項目名	時間数	うち 通学学習 時間数	うち 通信学習 時間数	講義内容・演習の実施方法・通信学習課題の概要等 (別紙でも可)
① 介護の基本的な考え方	2	1	1	〈通信学習課題・講義内容〉 ・理論と法的根拠に基づく介護、介護保険制度下の介護
② 介護に関するころのしくみの基礎的理解	4	2	2	〈通信学習課題・講義内容〉 ・高齢者の心理(加齢に伴う変化とその心理、高齢期のパーソナリティと適応) ・自己実現と生きがいづくり(高齢期の喪失体験、自己表現と生きがい、生きがいとはなにか、生きがいづくり支援)
③ 介護に関するからだのしくみの基礎的理解	5	3	2	〈通信学習課題・講義内容〉 ・人体各部の名称とはたらき、骨格・関節・筋のはたらき ・身体の動きの基本、ボディメカニクスの原則と介護への活用、 中枢神経系、末梢神経系、バイタルチェック 補助教材DVD使用
(合計時間数)	11	6	5	

使用する機器・備品等	株式会社QOLサービス発行『介護職員初任者研修テキスト 第2分冊』 「9 ころとからだのしくみと生活支援技術」 介護職員初任者研修 補助教材 DVD
------------	--

シラバス

指定番号 73

商号又は名称：(株)小野教育総合研究所

科目番号・科目名	(9) イ ころとからだのしくみと生活支援技術 (生活支援技術の講義・演習)			
指導目標	<p>「移動」においては様々な状態にある人の尊厳の保持、その人の自立・自律を尊重し、顕在能力はもちろん潜在能力を引き出すことについての適切で安全な基本技術を習得する。</p> <p>「健康」「身じたく」「食事」では、それぞれにおける行為の生理的意味や機能低下が及ぼす影響について学び、安全・安楽を考慮した援助を行う為に必要な知識を身につけ、技術の実際に結びつけていく。</p>			
項目番号・項目名	時間数	うち 通学学習 時間数	うち 通信学習 時間数	講義内容・演習の実施方法・通信学習課題の概要等 (別紙でも可)
④ 生活と家事	6	4	2	<p>〈通信学習課題・講義内容〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・家事支援の必要性和目的、信頼関係の構築と秘密保持、利用者に合わせた生活、 ・調理、清掃、洗濯、衣類の補修
⑤ 快適な居住環境整備と ⑥ 介護 ADL と IADL	5	4	1	<p>〈通信学習課題・講義内容〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・住居の役割と機能、快適な環境づくりと安全、室内整備と清潔、福祉用具とその使用方法
⑦ 整容に関連したころとからだのしくみと自立に向けた介護	6	6	0	<p>〈講義・演習内容〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・整容に関する基礎知識、支援技術、口腔ケアの支援技術 <p>補助教材DVD使用</p>
⑧ 移動・移乗に関連したころとからだのしくみと自立に向けた介護	12	12	0	<p>〈講義・演習内容〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・体位・姿勢の介護、衣類の着脱の介護、移乗の介護、車いすでの移動の介護、外出の介護 <p>補助教材DVD使用</p>
⑨ 食事に関連したころとからだのしくみと自立に向けた介護	6	6	0	<p>〈講義・演習内容〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・食事に関する基礎知識、食事の介護 <p>補助教材DVD使用</p>
⑩ 入浴、清潔保持に関連したころとからだのしくみと自立に向けた介護	6	6	0	<p>〈講義・演習内容〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・入浴・清潔保持に関する基礎知識、入浴の介護 <p>補助教材DVD使用</p>

科目番号・科目名	(9) イ こととからだのしくみと生活支援技術 (生活支援技術の講義・演習)			
項目番号・項目名	時間数	うち 通学学習 時間数	うち 通信学習 時間数	講義内容・演習の実施方法・通信学習課題の概要等 (別紙でも可)
⑪ 排泄に関連した こととからだのしくみ と自立に向けた介護	6	6	0	〈講義・演習内容〉 ・排泄に関する基礎知識、排泄の介護 補助教材DVD使用
⑫ 睡眠に関連した こととからだのしくみ と自立に向けた介護	4	4	0	〈講義・演習内容〉 ・睡眠に関する基礎知識、睡眠の介護
⑬ 死にゆくひとに関連した こととからだのしくみ と自立に向けた終末期介護	3	3	0	〈講義・演習内容〉 ・終末期ケアに関する基礎知識、終末期ケア(緩和ケア、家族へのケア)
(合計時間数)	54	51	3	

使用する機器・備品等	株式会社QOLサービス発行『介護職員初任者研修テキスト 第2分冊』 「9 こととからだのしくみと生活支援技術」 ベッド、車いす、ポータブルトイレ、簡易浴槽など 介護職員初任者研修 補助教材 DVD
------------	---

シラバス

指定番号 73

商号又は名称：(株)小野教育総合研究所

科目番号・科目名	(9) ウ こころとからだのしくみと生活支援技術 (生活支援技術演習)			
指導目標	他の科目で学習した知識や技術を統合して、介護過程を展開し、介護計画を立案し、適切な介護サービスの提供ができる能力を養い、利用者や家族の介護問題を総合的に理解し、計画的・効率的に介護を実践する事の重要性を実感する。			
項目番号・項目名	時間数	うち 通学学習 時間数	うち 通信学習 時間数	講義内容・演習の実施方法・通信学習課題の概要等 (別紙でも可)
⑭ 介護過程の基礎的理解	6	2	4	〈通信学習課題・講義内容〉 ・介護過程の目的と意義、介護過程の展開、介護過程とチームアプローチ ・認知機能の低下からおこる不安感を防止し、日常生活を取り戻した事例、なじみのヘルパーとのかかわりで「自立」につながった事例
⑮ 総合生活支援技術演習	4	4	0	〈通信学習課題・講義内容〉 ・要介護者・家族介護者への援助(事例の概要、生活状況、山田太郎さんの状態像の把握、介護計画の立案、介護手順書の作成、演習の評価とまとめ、事例の将来像) ・要支援者への支援(事例の概要、生活状況、伊藤和さんの状態像の把握、介護支援計画の立案、介護支援手順書の作成、演習の評価とまとめ、事例の将来像)
(合計時間数)	10	6	4	
(9) 総合計時間数	75	63	12	

使用する機器・備品等	株式会社QOLサービス発行『介護職員初任者研修テキスト 第2分冊』 「9 こころとからだのしくみと生活支援技術」
------------	---

- ※ 通学時間数には通学形式で講義・演習を実施する時間数、通信時間数には自宅学習にあてる時間数を記入すること。
- ※ 各項目について、通学時間数を0にすることはできない。なお、通信時間数については別紙3に定める時間以内とする。
- ※ 時間配分の下限は、30分単位とする。
- ※ 項目ごとに時間数を設定すること。
- ※ 実技演習を実施する場合は、実技内容・指導体制を記載すること。

シラバス

指定番号 73

商号又は名称：(株)小野教育総合研究所

科目番号・科目名	(10) 振り返り			
指導目標	研修全体を振り返り、学んだ事について再確認を行うとともに、就業後も継続して学習・研鑽する姿勢の形成、学習課題の認識を図る。			
項目番号・項目名	時間数	うち 通学学習 時間数	うち 通信学習 時間数	講義内容・演習の実施方法・通信学習課題の概要等 (別紙でも可)
① 振り返り	2	2	0	〈講義内容〉 ・学習到達度チェック ・グループディスカッション実施
② 就業への備えと研修修了後における事例	2	2	0	〈講義内容〉 ・質の向上と人材育成、キャリア段位制度と介護技術評価、事業所等における事例に学ぶ ・グループディスカッション実施
(合計時間数)	4	4	0	

使用する機器・備品等	株式会社QOLサービス発行『介護職員初任者研修テキスト 第2分冊』 「10 振り返り」
------------	--

- ※ 通学時間数には通学形式で講義・演習を実施する時間数、通信時間数には自宅学習にあてる時間数を記入すること。
- ※ 各項目について、通学時間数を0にすることはできない。なお、通信時間数については別紙3に定める時間以内とする。
- ※ 時間配分の下限は、30分単位とする。
- ※ 項目ごとに時間数を設定すること。
- ※ 実技演習を実施する場合は、実技内容・指導体制を記載すること。